

## 採用活動について

～ IT 関連より専門的・技術的職業従事者の正規社員雇用ニーズの方がはるかに高い～

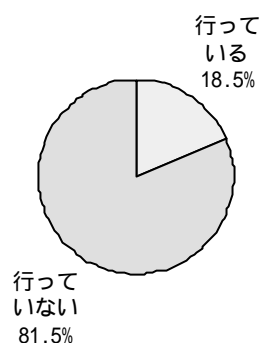
### はじめに

高度情報化の進展は雇用をめぐる環境に大きな影響を与え、急激な情報技術革新に適応可能な人材への需要が急増し、求人と求職のミスマッチが生じていると言われている。一方、和歌山県の雇用の現状は、有効求人倍率が 0.5 倍前後の低い水準で推移し、依然厳しいと言われている。

そこで、和歌山県の雇用情勢におけるミスマッチの実態を把握すべく、県内企業の中途での正規社員の採用状況について調査した。

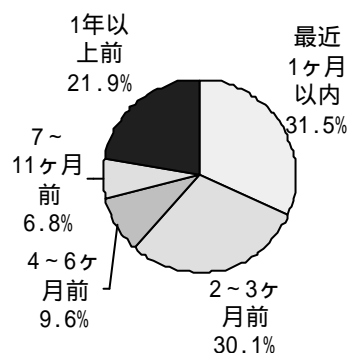
### 正規社員の中途採用

現在、中途での正規社員の採用活動を「行っている」とする企業は 18.5%、採用活動を「行っていない」が 81.5% を占めた。また、業種別でみると、「行っている」とするのは製造業が最も高く 22.3% あり、逆に商業や建設業が低く、それぞれ 15.7%、16.3% であった。



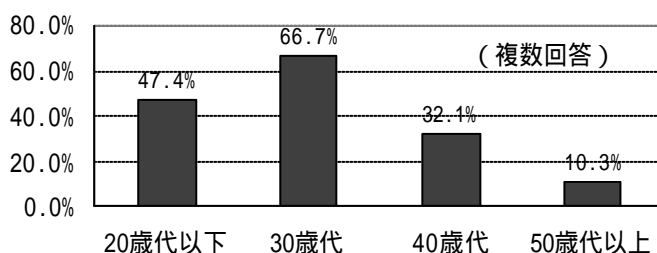
### 採用活動開始時期

採用活動を始めた時期については、「最近 1 ヶ月以内」が最も多く 31.5%、次いで「2～3 ヶ月前」が 30.1% となった。一方で「1 年以上前」から採用活動を始めている企業も 21.9% あった。また、業種別では、商業とサービス業の 7 割近くが最近 3 ヶ月以内に採用活動を始めている。それに対して、製造業や建設業では 3 ヶ月以内に採用活動を始めたのは 5 割程度であり、逆に 1 年以上前から採用活動を始めている企業が約 3 割もあった。製造業や建設業では求人と求職のミスマッチが生じている可能性が高い。さらに、1 年以上前から採用活動を行っている職種としては専門的・技術的職業従事者が群を抜いて多かった。



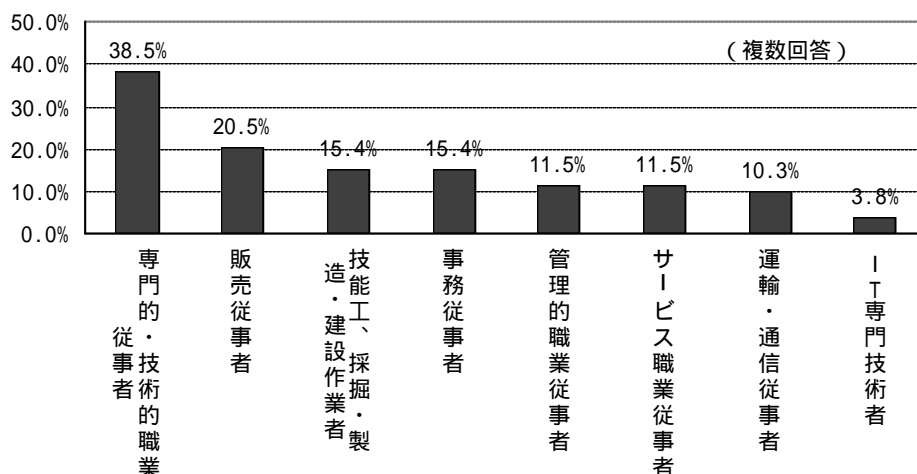
### 募集社員の年齢

募集社員の年齢としては、「30 歳代」が 66.7%、「20 歳代以下」が 47.4%、そして「40 歳代」が 32.1% となった。「50 歳代以上」の募集を行っている企業は 10.3% しかなく、50 歳代以上での再就職の厳しさが表れている。



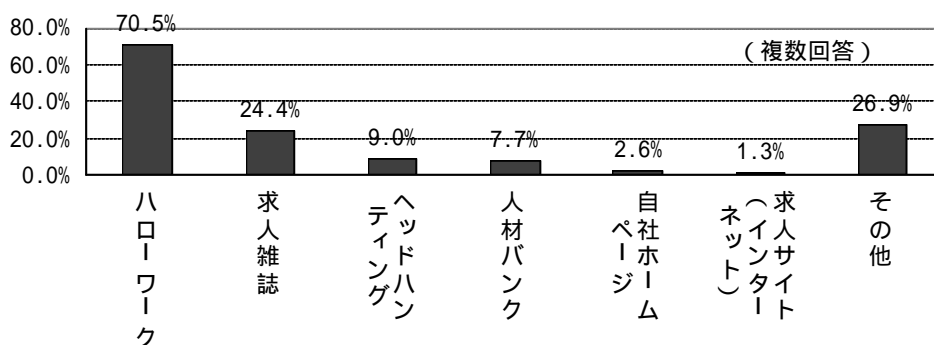
## 募集職種

募集職種としては、「専門的・技術的職業従事者」とする企業が 38.5%と特に多かった。次いで、「販売従事者」の 20.5%、「技能工、採掘・製造・建設作業者」の 15.4%という順になった。専門職や営業、現場労働等の募集は行われているものの、それ以外の職種では募集が少ないという結果となった。また、日本全体でみて雇用のミスマッチが叫ばれている「IT 専門技術者」について募集を行っている企業は 3.8%にしか至らなかった。



## 採用活動の利用媒体

採用活動における利用媒体では、「ハローワーク」の 70.5%、「求人雑誌」の 24.4%が多かった。逆に「自社ホームページ」や「求人サイト(インターネット)」と回答する企業はほとんどなかった。「ヘッドハンティング」や「人材バンク」を媒体として利用している企業は、本県では、それぞれ 9.0%、7.7%にとどまった。さらに、また、その他として回答の多かったものは「新聞広告」、「折り込みチラシ」、「人を介して」などであった。



## おわりに

和歌山県では経済誌面で採り上げられている IT 関連の雇用ミスマッチは存在せず、年齢面や採用活動が専門的・技術的職業従事者等の職種に偏っていることに起因するミスマッチが存在することが明らかとなった。